

令和元年9月における会員の財務状況等

日本商品委託者保護基金

1. 会員数の状況

会員数は26社。内訳は受託会員14社、取次会員12社となっている。

2. 委託者数等の状況

委託者数は延べ79,381人で前月から166人増加し、建玉委託者数も12,828人で前月から172人増加となった。また、役職員数は3,962人で前月から32人減少した。

3. 委託建玉及び預り証拠金の状況

委託建玉は563,226枚で前月から6,838枚減少した一方、預り証拠金は1,244億26百万円となり前月から19億円増加した。なお、委託者に占める建玉委託者は16.2%となり前月から0.2ポイント増加した。

4. 純資産額の状況

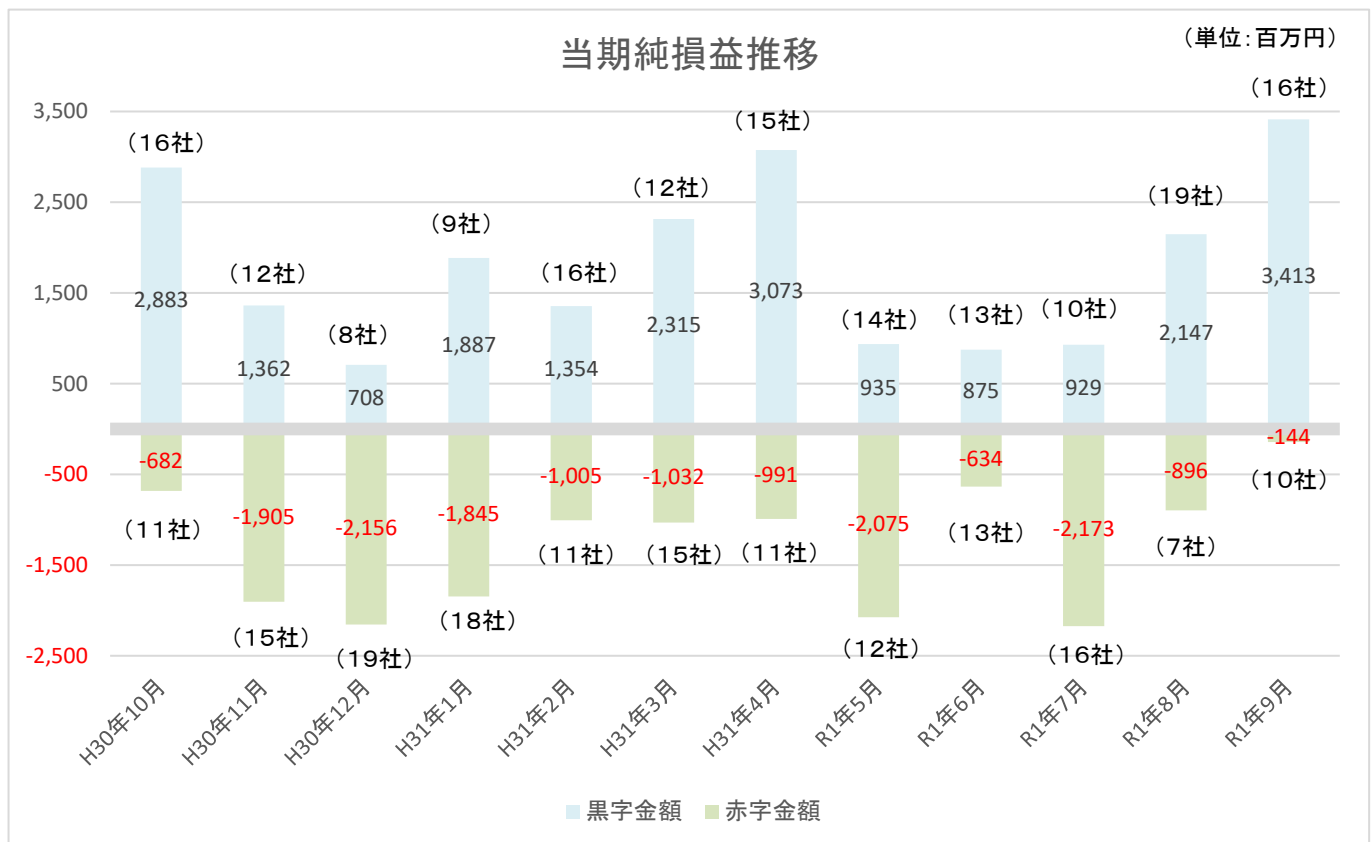
会員の純資産額は総額3,310億86百万円となり、前月から34億25百万円の増加となった。

5. 損益状況

今月の当期純損益について、黒字の会社が16社、赤字の会社が10社となった。ある会員が「その他のトレーディング損益」において、多額の損失を計上したが、同会員が当該損失を上回る営業外収益を計上したため、当期純損益は約32億円の黒字となった。なお、黒字社数は前月の19社から3社減少した。

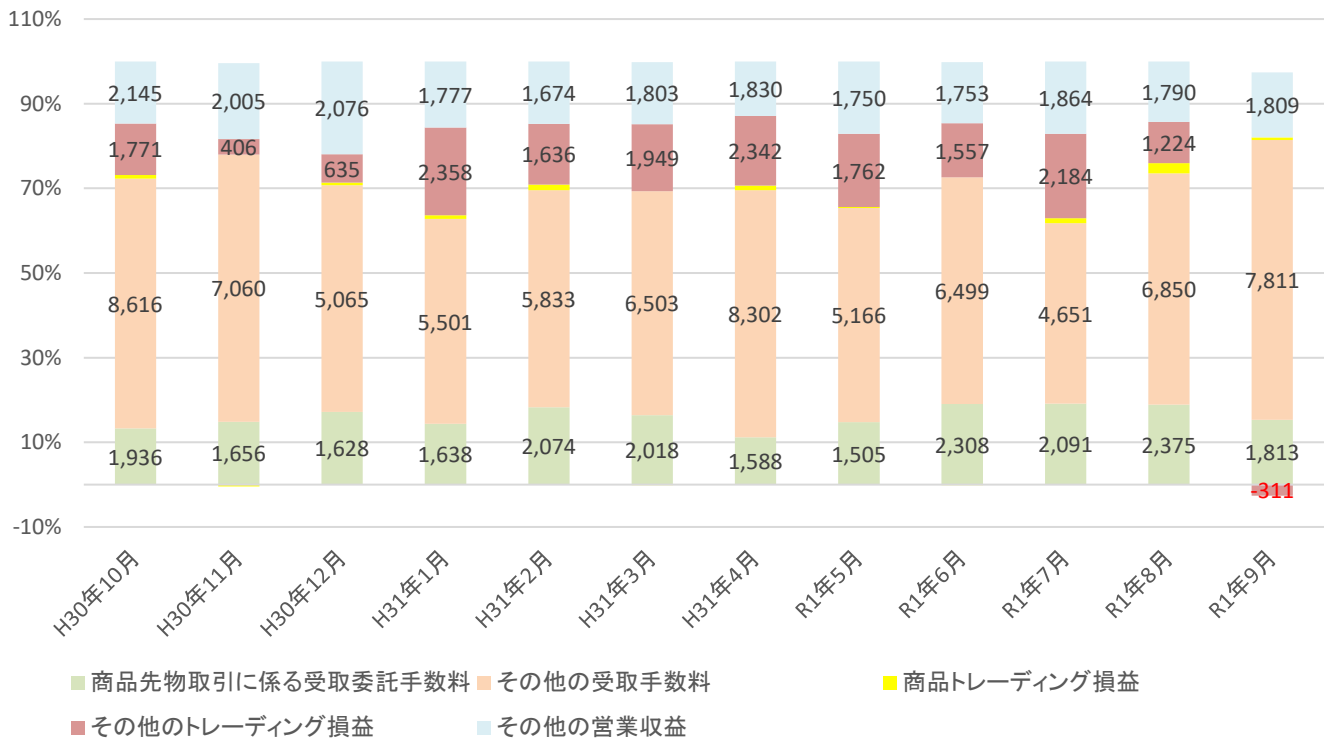
6. 取引高の状況

委託取引高は、前月比21.7%減(前年同月比20.4%増)の約326万枚となった。その要因は、白金標準取引(前月比31.8%増の約62万枚)が増加したものの、金標準取引(前月比35.7%減の約148万枚)、東京ゴールドスポット100(前月比27.1%減の約26万枚)及びRSS3号(前月比32.7%減の約13万枚)の減少が大きかったためである。また、大阪堂島商品取引所の新潟コシが上場以来初の5万枚超を記録した。なお、電力先物が9月17日に新規上場した。



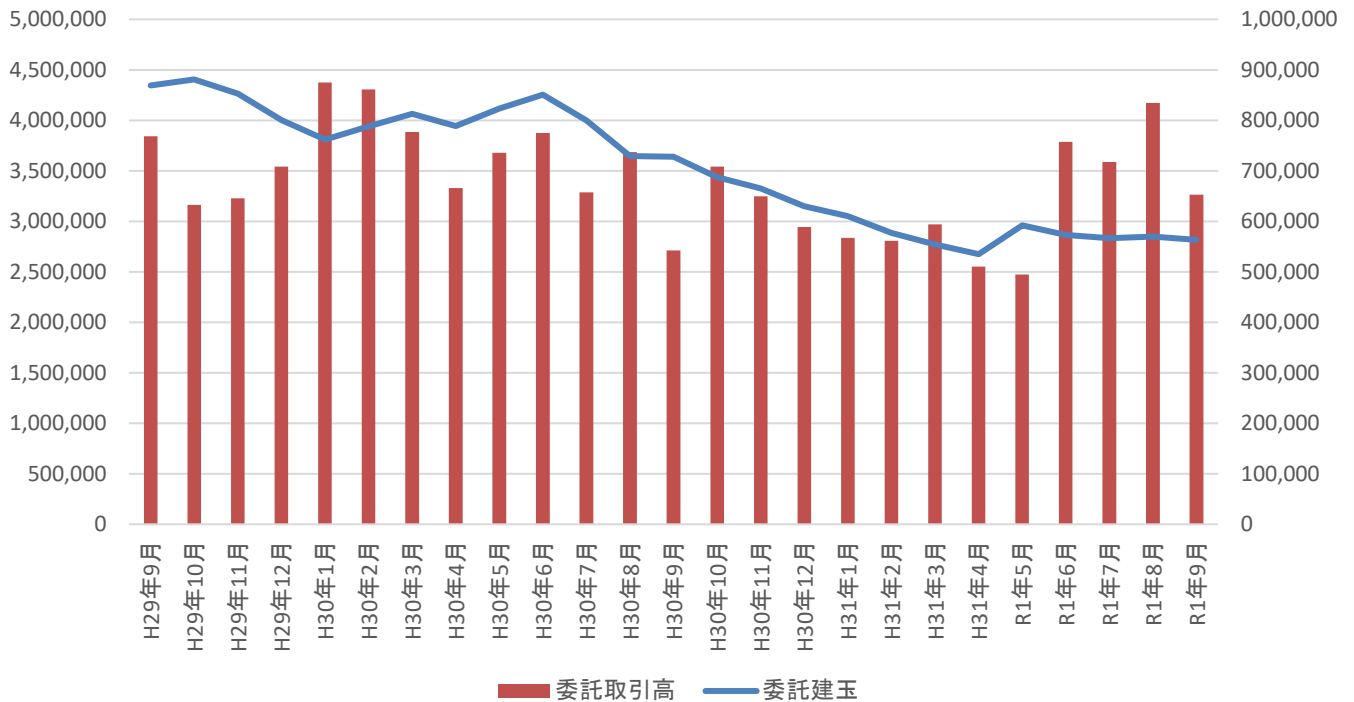
営業収益内訳割合

(単位:百万円)



委託取引高及び委託建玉推移

(単位:枚)



以上